

パラグラフィティング講座を開催しました！

9月28日（水）長崎大学言語教育研究センターより西原俊明教授をお招きし、論理的な英文作成技術についてご指導いただきました。高校2年生国際科のSGH研究班16班の代表31名が参加し、論理的な段落を構成するためのノウハウやステップを学びました。また、東京大学の入試問題も交えて、グラフ描写に効果的な表現をご紹介いただき、今後のSGH研究レポート作成の際にとっても役立つ内容でした。大学や社会での学びや効果的な英語学習法についてもユーモアを交えてご教示いただき、リラックスした雰囲気を楽しみながら英語を学びました。参加した生徒からは、「動詞が持つ基本イメージを大切にしている的確な英文を作成したい。There is a growing concern～はすぐにでも使ってみたい」「まず構成のアウトラインを考え、文と文の意味的につながりやつながり言葉を意識して書いてみます」「将来の留学に向け、IELTs（外部検定試験）を頑張ってみます！」といった感想が聞かれました。



英語ディベート大会で優勝しました！

10月15日に長崎北陽台高校で開催された長崎県高校生英語ディベート大会において、長崎東高校Aチーム（木山和香、赤井彩音、山田侑季、向井杏夏）が優勝しました。参加した過去2年間はいずれも準優勝でしたが、昨年1年生で出場した準優勝メンバーを中心に、見事雪辱を果たしました。さらに木山和香がベストディベーター賞を受賞しました。また1回戦で敗れはしたものの、Aチームとともに夏休みから資料集めに尽力し、何度も練習を積んできたBチーム（荒木るど、飯島禅仁、高木絢介、藤本真緒）のサポートがあったからこそこの優勝でした。AチームとBチームから選抜される6名は、12月3日（土）に福岡市で行われる九州大会へ出場します。なお命題は、県大会と同じく「That the Japanese government should adopt a social security system that provides a basic income to all Japanese citizens.（日本政府は、日本のすべての市民に、ベーシック・インカムを給付する社会保障制度を採用するべきである。是か非か。）」です。

